

トランスワープで「オー！ ノー！」

■3歳馬が強いと思えば、カレンブラックヒルとフェノーメノの一点勝負が、今回の天皇賞でのもっとも美しい買い方だと思いますが、どうでしょうか？ ただ、両馬ともに人気です。加えてもジャスタウェイの3頭ですから、買い方は簡単です。

もちろん、私は買いません。

■今回の天皇賞は、両陛下が久しぶりに来場されるという天覧G1です。そこで、メイショウカンパク（関白）が2着に来るという話があります。天皇の第一の家来ですから。もちろん、1着はルーラーシップ（支配者＝王）で決まりです。これも、1点勝負。

もちろん、私は買いません。

■さらに、騎手では三浦皇成。天皇の「皇」を名前に持つのは彼しかいないからです。騎乗馬はネヴァブション。最高齢の9歳馬。前3走10着、12着、13着と二ケタ着順。

ここまで可能性がないと買いたくなりますが、買いません。

■まだあります。天皇が来るなら、キングスベストの子、エイシンフラッシュが来るという説です。となると、
キングカメハメハの子、ルーラーシップ、トゥザグローリも来るわけです。キング3点勝負まであります。

まあ、これもやめておきます。

■アメリカ大統領選挙が1週間後に近づいています。黒人オバマ大統領の再選で、カレンブラックヒルが鉄板という説があります。となると、相手はブラックに近いダークシャドウ、ナカヤマナイト
と言われています。フェデラリストという説もあります。

もちろん、私は買いません。

■「石原新党の結成」「日本維新の会の人気凋落」「近いうち解散は詐欺か」など、政界の話題は豊富ですが、日本の政治関連馬は今年はまったく不振です。「尼崎の鬼女・角田美代子」関連馬も見当たりません。

■結局、本命は7歳セン馬トランスワープ。ここから、馬単、馬連で総流しです。理由？騎手の大野拓弥は2005年デビューで、これまでの重賞勝ちが去年の中日新聞杯のコスモファントムのみ。このトランスワープではローカル重賞を2勝して、やっと通算3勝。そんな騎手が天皇賞騎手になるはずがないからです。

一部ファンの間では、「大野は買ってはいけない」「Oh! No!」と言われています。

《天皇賞：東京芝2000M》

1枠 1番	ナカヤマナイト	牝4 58	柴田善臣
1枠 2番	シルポート	牝7 58	小牧太
2枠 3番	ネヴァブション	牝9 58	三浦皇成
2枠 4番	フェノーメノ	牝3 56	蛭名正義
3枠 5番	サダムパテック	牝4 58	武豊
3枠 6番	ルーラーシップ	牝5 58	1. メンディザバル
4枠 7番	アーネストリー	牝7 58	佐藤哲三
4枠 8番	ジャガーメール	牝8 58	石橋脩
5枠 9番	ダイワファルコン	牝5 58	北村宏司
5枠10番	フェデラリスト	牝5 58	横山典弘
6枠11番	ジャスタウェイ	牝3 56	内田博幸
6枠12番	エイシンフラッシュ	牝5 58	M. デムーロ

7枠13番	ダークシャドウ	牡5 58	福永祐一
7枠14番	トランスワープ	セン7 58	大野拓弥
7枠15番	トーセンジョーダン	牡6 58	C. スミヨン
8枠16番	カレンブラックヒル	牡3 56	秋山真一郎
8枠17番	マイネルスターリー	牡7 58	松岡正海
8枠18番	トゥザグローリー	牡5 58	岩田康誠